

高校生までの子ども医療費 助成について

中嶋 通治



問 医療費助成の当市の現状と県内他市町村の対象となる児童の状況は。

答 中学生まで、通院で37市町村、入院で31市町村。18歳まで、対象は通院で26市町村、入院で32市町村となっている。

問 今後の重要な子育て支援策として高校生までの対象拡大が必要であると思うが、拡大した場合、対象児童数や財政負担の見通しと市の考え方は。

答 令和3年1月、18歳までの高校生は2,200人、これに当市の中学生年間1人当たり平均支給額を乗じると財政負担が年間で4,700万円程度増加する。対象拡大については、現時点では考えていない。

問 市は、対象拡大について考えていないとのことだが、県内・全国で取り組んでいる自治体の状況も踏まえて、ここは前向きに検討してもらいたいがいかがか。

答 現時点において考えていないが、この事業は市としても子育て支援策の大きな事業の一つでもあり、他の自治体の動向を注視し、県に対しても引き続き補助拡大を要望していく。

断らない相談窓口の設置 と重層的支援体制整備を

五十嵐 恵千子



問 市民の暮らしが多様化する中、個人が抱える課題はさらに複雑化・複合化し、何処へ相談して良いのか判らないといった深刻な声があり、過去から議会にて取り上げ要望している。

- ①断らない相談窓口設置検討の進捗状況は。
- ②当市に合った重層的支援体制整備とは何か。
- ③第2次吉川市自殺対策計画策定のポイントは。

答 ①窓口体制は検討中であるが、何処の窓口へ行っても対応出来るような体制を考えている。

②新たに、参加支援事業・地域づくり事業・多機関協働事業・アウトリーチ等事業を含め、相談者の課題に寄り添い悩みを幅広く受け止める。

③新年度に予定している市民意識調査の結果を踏まえ、課題を整理し次期計画の策定に向かう。

◆江戸川堤防強化事業に係る地域課題について

問 平方新田・加藤地内の排水路と道路整備を。

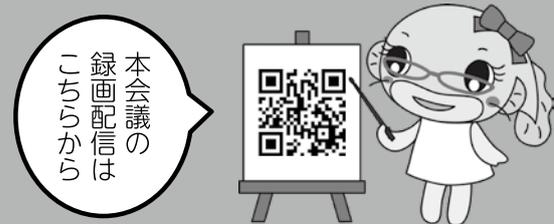
答 堤防の未整備箇所は、現在新たな詳細設計を行っている。国の対応を確認する。

答えて市長！ 一般質問

今定例会では、3月16日(水)、17日(木)、18日(金)の3日間にわたり17名の議員が市政全般について、市の見解をたどりました。

主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。

会議録は、ホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は、6月上旬となる予定です。



駅頭に防犯カメラ設置 プライバシー保護も配慮

降旗 聡



問 公共空間における防犯カメラ設置の考え方と設置にあたってのルール作りについて。

答 令和4年度は、不特定多数の方が往来する駅前広場に設置したい。設置においては、令和3年度に策定した「街頭防犯カメラの設置及び運用に関する基本方針」をはじめ、既存の「防犯カメラの設置及び運用に関する規則」や「個人情報保護条例」に基づき適切に管理運用していく。

問 市民への周知とプライバシーの配慮は。

答 防犯の効果を出すために、交差点等でも人目につきやすいところへ設置していく。プライバシーの配慮ということもあるので、設置台数については必要最低限としたい。また、設置個所についても地域や関係機関などと協議をしていく。

問 自治会など防犯組織が防犯カメラを設置していくことについては。

答 市内にもいくつかの自治会で設置していただいているところ、また啓発看板を設置していただいているところがある。県や市の情報を提供していく。